

団体名	どんぐりの家
助成額	414,445 円
申請事業名	「どんぐりの家」室内環境の改善と運営基盤の整備
facebook	<a href="https://www.facebook.com/dongurinoie.doshida/">https://www.facebook.com/dongurinoie.doshida/</a>

## 活動・事業報告

「どんぐりの家」では、サロンやこども食堂、学習支援などの取り組みを通じて、多世代交流を図るための居場所づくりの事業や催しを行っています。

施設開設から 5 年目を迎える 2019 年度は、パルシステム東京市民活動助成基金を活用して、施設運営の安定と活動内容の一層の充実を目的として、①利用環境の整備（エアコンの設置、炊飯器と椅子の更新）、②施設の運営や活動のための基盤整備（パソコンやプリンターの購入、通信環境の整備）を行いました。

エアコンの設置や炊飯器等の更新により、利用

環境の大幅な改善を図ることができました。また、パソコンや通信設備の整備により、団体としての基盤が整い、大変感謝しております。従来からのチラシ配布に加え、インターネットによる情報提供に努めることで、利用者の増加とともに、協力者（スタッフや食材の提供者）も増加し、運営経費（食材料費など）の節減にもつながっています。

〔参加者数〕

- ・こども食堂（月 1 回開催）延 276 人、
- ・大人食堂（月 1 回開催）延 255 人
- ・学習支援（週 1 回開催）小学生 7 人、中学生 1 人、高校生 1 人（実人数）

## 助成金を受けての成果とその自己評価

①エアコンの設置により、快適な室内環境が整いました。サロン活動も学習支援も、特に猛暑だった今年の夏は利用者が快適に過ごすことができ、感謝の声が寄せられています。

多彩な機能を有する大きな炊飯器により、一度に利用者全員のご飯が用意できるようになり、特に炊き込みご飯は利用者に大好評です。また、マイコン制御により古米でも美味しく炊き上がります。さらに、保温機能を活用することで、おでんなども温かい状態で提供できるようになり、メニューも充実してきました。

②スマートフォン、パソコン、プリンターの配備通信基盤が整ったことで、情報の提供や伝達、情報収集機能が格段に向上しています。フェイスブックを活用して、施設での活用の様子を容易に公表できるようになりました。地域での認知度が向上するとともに、活動内容の周知が進み、近隣住民からの野菜や米、調味料などの食材提供の申し出など協力者も増えつつあります。また、若いお母さん方が活動に興味を持ち、サロンや食事に乳幼児と一緒に参加するケースも増えています。

## 今後の活動の展望

①利用者・協力者を増やすこと

地域での多世代交流を深めるためには、より多くの方に「どんぐりの家」の活動を知ってもらう必要があります。このため、地域の方々が参加しやすく、活動内容が目に見えるようなバザーのような取り組みを充実させていく必要があります。

②活動内容の情報提供

フェイスブックなどを活用して、広く一般に活動内容の周知を進めます。これにより、取り組みの賛同者や協力者の獲得に努めます。

③類似団体との交流

活動内容の幅を広げることなどを目的として、同趣旨で活動している団体や、地域で活動している様々な団体との交流や情報交換を進めます。

④春・夏休みの事業の充実

小中学生を対象に、視覚障害者や聴覚障害者との交流や障害の理解を進めるため、手話教室や交流会などを実施していますが、こうした取り組みの充実を図っていきます。また、パン教室など楽しみながら交流できる体験教室の開催などを行っています。



助成金で購入した椅子



助成金で購入したエアコン

助成金で購入したパソコンと  
一升炊きの炊飯器



ビデオレターはこちらから

<https://youtu.be/6Zj54PipV4Y>

